



7月12日、午前5時鮎友会のメンバー(7人)が早朝大会で腕を競う。

広報

ひがし しらかわ

No.353
H2/7

発行 東白川村・編集企画課
岐阜県加茂郡東白川村神土
〒509-13 ☎05747-8-3111
印刷 下呂印刷株式会社

人口の動き

— 6月末住民登録人口から —

世帯数	910世帯
人口	3,492人
転入	1人
転出	3人
出生	2人
死亡	3人

先月と比較して3人減
昨年と同月と比較して
30人減

我ら釣り仲間！楽しくプレー

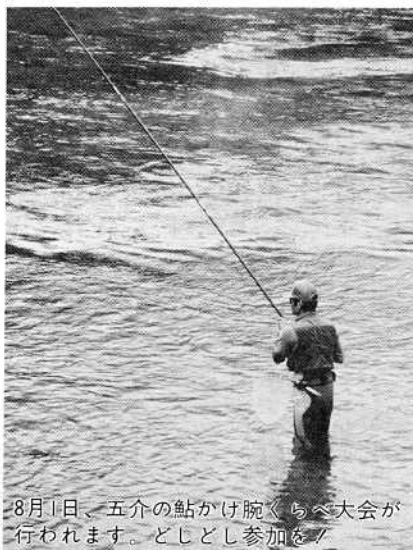
アユ釣りが解禁となり、清流白川に活気が戻ってきました。初めての土曜日解禁、あなたの釣果はいかがでしたか……。

村の観光動態調査によれば、年間に訪れる釣り人は延べ1万人ともいわれ、どこまでこのブームが続くのか見当もつきません。

そんな中で、釣り技術の向上とマナーを大切にしよう！という考えの人たちが集まって、釣りクラブを結成しています。

クラブ単位でアユ釣り大会を行ったり、定例の会を開いて情報を交換するなど新しい形の楽しみ方を工夫しています。ただ1つの条件は“ぜったいに川を汚さない”こと。

今、釣り針、釣り糸を持ち帰っているあなたなら、その資格があります。



8月1日、五介の鮎かけ腕くらべ大会が行われます。どしどし参加を。



聞き書き

アユ
鮎釣り
いま
昔
むかし

一年ひと昔といわれるほど、時代は急速に進んでい

ます。今、書き残しておか

ないとだごることのできない鮎釣りの

昔を、追ってみました。

遡上鮎三年に

一回欠の溯まで

麦わら帽子にタモをひよいとかぶせ、服装は肌シャツにズボン下（ステテコ）。足もとはワラぞうりといった格好が、アユ釣りのトレードマークであった時代は昭和三十年代ごろまで続きました。

上の写真は、その当時のもので昭和三十四年七月十九日に越原日向で撮影したのですが、何ともいえないのどかな雰囲気

が伝わって来ませんか。このころになると、竹の一本竿から継ぎ竿に変わっているの

がご覧いただけるでしょう。

現代とどれほど違うのかご存じない方は、表紙の写真と見比べてみてください。

もちろん、釣っているアユは遡上アユではなく現在と同じ琵琶湖産の放流アユです。

遡上アユが途絶えたのは、下流に発電用ダムが作られた大正末期のことですが、遡上の最上流は越原川の溯あたりまでで、それも三年に一回三四ぐらいだったそうです。（桂川富次郎さん85歳談）

しかも、アユの取り方がわからず増水した日に濁りすぎをするとたまにアユが入ってくる程



愛用したアイカンを手にする安江幸介さん

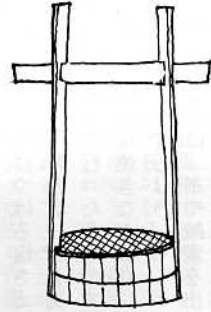
度で、昭和六年に今井廉一氏（池の島医院）が発起人となって設立した「白川筋漁業組合」が現在の七宗町川並あたりで遡上稚アユを汲み取り放流するまでは、越原地区でアユ釣りをする人はほとんどみられませんでした。（安江幸介さん86歳談）

その第一回目の放流のとき大明神川で育つかを確かめようと、越原の小谷で木おけ二杯分七十五匹の稚アユを受け取った桂川富次郎さんは、黒瀬橋まで一気に走って放流。その内、二十四を釣ったことから大明神川のアユ釣りの歴史が始まっています。

大正十二年鮎釣り師登場

東白川のアユ釣りの起源を正確に知ることはできませんが、大正七年には白川町あたりでアユ掛けをしていたそうです。

桂川富次郎さん（黒淵）が、美濃加茂の高校へ歩いて通った際に、その光景を実際に見たといわれており、その当時のアユの入れ物を聞いたままに書いてみたのが下の絵です。



深さが風呂の洗いおけぐらいの手おけに、網をかぶせたものでした。その後登場したのが、前ページの安江幸介さんが手に



家の裏庭で鮎釣りを眺める村雲利市さん

している一斗カンのアイカンです。

その当時の親アユは、組合の役員が投げ網で種親を捕り、班員の数だけ釣って解禁の前日に配ったそうです。

白川町から東白川へ山仕事に來ていた人にアユ釣りの方法を学んだという本本の村雲利市さん(88)が、村で一番早いアユ釣り師だったと聞きます。

自転車でコツコツ稚アユを運ぶ

村雲さんがアユ釣りを始めたのが大正十三年のこと、二十一歳のときでした。その後、先輩にあたる五加地区の数人の人も始められるようになり、この年に七宗町川並から遡上アユを汲み捕って放流していたといいますが、前記の第一回の組合放流より八年も前のことです。

ブリキで作ったアイカンに捕った三十〜四十匹のアユを入れ

自転車の荷台にひとつづつ積んで運びました。

これを約五人で二〜三回往復したといわれますから、放流したアユはせいぜい六百匹。しかし、この当時の顔ぶれの中には神土、越原の人たちの姿はまだ見られません。

五加の神矢橋付近で放流したアユは、上親田のナベにある木で作ったえん堤まで登ったそうですが、アユが川を登る習性が裏目にでた面白い話があります。

苦労して運んだ稚アユを、川を登る習性を見越して自分の釣り場より下流に放流することなど、

わかっているにもかかわらず、できないこと。毎年、白川町水戸野のあたりには放流していた人が、いくら入れても東白川へ登ってしまいうアユにたまりかね、ついに大沢のはずれあたり

に金網を張ってしまっ

たのです。しかし自然の摂理に逆らうなど甘く、大水がでて苦労ともどもあつげなく流されたという話です。

一日五円の鮎釣り仕事

その当時、アユ釣りを仕事にしていた人は、おそらく村雲さんぐらいだったでしょう。

釣ったアユは、白川町の商人が仲買りに來ていたそうですがその商人に頼まれて白川町へアユ釣りに行ったそうです。山仕事の日当が二円五十銭という時代に、日当五円で釣れただけ渡

すという契約に、村雲さんの腕前のほどがうかがわれます。

午前二時、親アユを持って歩いて家を出発し、出かけるたびに五十〜六十匹は釣ったそうですから、趣味と実益を兼ねた仕事としては、当時めずらしかつたことでしょう。

こうした商売が大正の時代から成り立っていたのは、昔からアユは高価なものであり特に白川のアユは評判がよかつたからです。

(次ページへつづく)



安江幸介さん57歳の当時（昭和33年）

昔の釣り場は一人百ト

今の東白川の組合員・世帯数を上回る

色よし・味よし・香りよしの三拍子揃った白川のアユは、岐阜の市場や長良川の鵜飼でも利用されていたほど珍重されていたと聞きます。

今こそ、飛騨川漁業協同組合の組合員数も六千四百六十六人とマンモス組合になっていますが、設立した昭和二十四年当時はわずか千八百九人と現在の約四分の一でした。

「昭和三十年代ぐらまでは村内でアユ釣りをする人はほとんどなく、一人当たり約百斤ぐらいの釣り場があった。今は十斤に一人という割合だから十分の一だね」

神土地区ではこの人といわれ、中通の安江徳市さん(82)は当時の状況をそう語ってくださいました。

東白川支部の組合員も今では村の世帯数を上回る九百六十三人となっていますが、戦前戦後の時代は集落で五、六人といっ



長年漁業の役員を努めた安江徳市さん

た程度でした。しかも、毎日できたわけではなく、仕事を早く済ませた日ぐらいのことだったそうです。

戦時中も鮎を釣った

レジャー指向にある現代から思えば、戦時中はおそらくアユ釣りなんて出来なかつただろう……と考えるとしまいますが、貴重なタンパク源を補給する目的で放流もアユ釣りも行われていたのです。

食料難で作るものすべてが供出だった時代、捕ったアユの一割程度を地区の集会場へ持って行かなければならなかつたのです。ときには、ジャガイモと交換したという村雲利市さんは、そのジャガイモにつける塩さえもなく、青梅一升と塩一升を交換しに富山まで行ったそうです。

現代のように、車や酸素を出すエアポンプがない時代、親田地区や神付・中谷といった川に遠い地区の人たちは、川に近い人たちと比べたら大変な苦労がありました。

竹の一本竿をかつぎ親アユを片手に三十分から一時間をかけて歩いたのですから、やっと釣った何十匹というアユも、家につくころには全部死んでいました。

「冷蔵庫などはありませんから素焼きにして保存し、だしの代わりにナスやジャガイモといっしょに煮て食べるほど貴重なもので、たくさん釣っても塩焼きにするのは家族一匹づつだった」という、下親田の安江富与子さん(82)。

こんな貴重なアユも、川沿いにある中通の安江徳一さんの場合は、「現在の美濃加茂から毎日のように仲買人がきており、掛かりどころの悪いアユを除いては全部売ったものだった。食べ方は、もつばら塩焼き。いつでもちよつと川へ行けば釣ってこれたものです。」

青い旗で鮎様のお通り

現在の漁業組合の年会費といえ、三千五百円ですが、組合が設立されるまでは漁労税という県税を払いました。

この税金を払う人はわずかであつたものの、毎年何匹捕ってどれだけ売ったかを、所得申告しなければなりません。



新しい

村づくり体制が

スタート

事業推進、連絡調整が主で、必要に応じて集落代表が出席する形をとっています。

整備計画の七二%を採択

今回の見直しは、これまでほ場整備、農作業の機械化など農業分野を中心とした生産基盤整備が時代の要請であったのに対し、これからは「二十一世紀を指した地域づくり」いわば農林商工業者を包み込んだ住みよい環境づくりを進めるために対応したものとされています。

この委員会に構成員は、集落・団体・農林商工分野などの代表者からなり、産業委員会に農業・林業・木工の三部会を、環境委員会は神土・越原・五加地区を単位に部会を設け、構成員がそれぞれの専門分野にわかれて活動できる体制としました。

この委員会および部会の役割は、農林商工業または生活環境整備にかかる振興計画の樹立と



仕事の合間にアユ釣りを楽しむ安江利行さん(下親田 昭和30年代)

当時、稚アユの運搬は特別な
はからいを受けて運ばれ、放流
されていました。

琵琶湖の稚アユを放流するよ
うになったのは終戦前であるも
のの正確な年代は不明ですが、
一泊がかりで運んだ輸送用のト
ラックに一層ぐらゐの青い三角
旗を立ててきました。

この旗は、制限速度を緩和し
工事中でも通過できる特別許可
車を意味するもので、現在の救
急車のようなものでした。
いくら制限速度が緩和された

道具はすべて手作り
アユ釣りを通して時代の

「死んだ魚はどうしたの
か……」という、よくし
たもので滋賀県からの道中、
とどこころにバケツを持
ってそれを待っている人が
ちゃんとしたのです。そう
した待ち人にとっても青い
三角旗は大切な目印であっ
たようです。

七宗町を通る飛騨川沿い
の道は一車線でもしもトラ
ックがぎりぎり通れるほど
の幅員しかなく、おまけに
ガードレールがなかったの
ですから「命がけて運んだ
ものだ」という、作業に当
たった人たちの心境が伝わ
ってきます。

といってもガタガタ道で、しか
も深い輪だちの上を走るので
から、特別許可があっても片道
十時間はかかったそうです。
酸素ボンベがないため、水温
調整に滋賀県長浜市で水を買
い、五、六人が柄の長いひしゃくで
水槽の水をかき混ぜながら運搬
しました。

道中、手を休めることが出来
ず、おにぎりを食べながら作業
をしたそうですが、それでも半
分ちかく死んでしまったそう
です。

進歩を目的の当たりにできるもの
が道具。すべてが手作りだった
昔は、一本竿を作るために竹や
ぶからヒチクの竹を探し、竹の
先に重りをつけて軒に吊し、曲
がりをとったそうです。

タモの柄は、モミの木で作
り、網は自分で縫ったものを使
い、ワラぞうりを編む。大変なこ
となのですが、こうした道具作
りや仕掛け作りが解禁を待た
までの楽しみだったと、お年寄
りの方は言われます。

長竿、細糸の現代、仕掛けも
便利なものがどんと登場し
ていますが、竿の重量で比較し
てみると、六・三寸の継ぎ竿が
八百六十号。続いて登場したグ
ラス竿が五百六十号と軽量化が
進んでいきました。ちなみに最
近のカーボン竿では十号でわず
か二百九十号というものが登場
しています。

また、木曾川では釣り糸に真
ちゅうの針金を使った時代もあ
ったそうです。

釣り人は今日も白川に…

今年の稚アユの放流量は、飛
騨川漁業組合全体で九千三百四
十箇。内、東白川への放流量は
全体の二一%と十二の支部の中
ではダントツです。それだけ多
く人をひきつける白川は今日も
釣り人でいっぱいです。

あなたは今、白川の水を飲め
ますか……

飲めないかと答える人がほと
んどでしょう。

でも、「東白川の自慢はなん
ですか？」と聞かれたら「清流
白川」と答える人は多いと思
います。

「清流に魚棲まず」というこ
とわざのとおり、な
にも飲める水が清流
というわけではあり
ません。ただ、「こ
の川の水は飲めるほ
どきれいですね」と
いう町の人の言葉に
後ろめたさを感じな
から「そうですね」
と答えてしまう。

清流白川の名を汚
したくない心がそう
させるのでしょうか、
その後ろめたさはど
こにあるのでしょうか。

わたしたちの家庭では、毎
日一人当たり三百リの水を使
うといわれます。

これを単純に村の人口に掛
け合わせるとドラムカン九千
九百本分に相当します。これ
だけの「生活排水」が、その
ままの状態です。

生活排水の中では、トイレ

『ブルーリバー作戦』 進めよう台所排水対策

や掃除、洗濯に使われた水が
最も汚れているように思われ
がちですが、一番悪質なのは、
台所から出る水です。

使用済みのてんぶら油五百
ccを、魚が棲めるように薄め
るには、風呂おけ三百三十杯
分の水が必要と言われます。

野菜や食器を洗った水だか
ら汚くないと思いがちですが、
こういう栄養をたつぶり
含んだ水こそ腐りやすい
ので、すぐ汚い水に変わ
ります。

県と村では今年度「ブ
ルーリバー作戦」を展開
し次のような呼びかけを
しています。●流し台に
目の細い三角コーナーと
ストレーナーを付ける購
入は保健婦人部を通じて
取まとめます。(千三百
円と八百円)

●使用済みの食用油はそ
のまま流さないで新聞紙など
に吸いとり燃えるゴミにし
る。●油汚れのひどい食器は
紙などでふいてから洗う。●
洗濯は風呂の残り湯を使い、
洗剤は使用量を正しく使う。

ブルーリバー、青く澄んだ
水と川、その入口はあなたの
家庭、あなたの台所です。



8月15日、香良洲神社は宮踊りにぎわう

海の町は夏がおもしろい

波打つ白砂の海岸が美しい三重県の香良洲町は、今、カラフルな水着が彩る海水浴シーズンの真っただ中。

そんな潮の香りが漂う海の町との交流は、この六月二十八日で満一周年を迎え、村から桂川眞郷村長、安江久夫議長、村雲利彦副議長ら関係者七人が訪問し親善を深めました。

「今後さらに自然な形で交流が進むことを願っています」

米川町長の後任として一月二十三日に就任された鈴木一司町長の歓迎のあいさつに次いで、

交流1周年 2度目の夏 がやって来た

香良洲町をたずねて

別活動教室の壁には、児童らが製作した「香良洲町を知るコーナー」が設けられており、八月十八日には人材養成事業のひとつとして青年国内研修に青年団員約二十人が一泊二日の予定で訪れることになっています。

香良洲神社の宮踊り

さて、写真の祭りは、別名「香良洲のケンカ踊り」「風災踊り」とも呼ばれ、

三重県の無形文化財に指定される香良洲神社の「宮踊り」です。豊作大漁を願ったこの踊りは、町内で一番大きな祭り。

四つの集落の若者がそれぞれ工夫を凝らして町内をねり歩き、選出された四人四組の踊り子が午後九時か



香良洲町役場で交流の話題に話が弾む

具体的な交流は、昨年の七月老人クラブの交歓会に始まり、九月には文化財審議会のみなさんが、二月には教育委員と学校長が相互に行き来するなど、肩ひじを張らないなごやかな中に続けられています。

そのほか、東白川小学校の特

ら神社の境内でかわるがわる翌日の午前中まで不眠不休で踊りまわります。この宮踊りが行われる八月十六日は、機動隊が出て警備に当たるほど。ぜひ一見をおすすめしたいお祭りです。

キーワードは

心のふれあい

青少年主張大会



「すなおな心さわやかに育てる」をテーマに六月九日、村民センターで、「青少年の主張大会」が開かれ、百数十名の聴衆が青少年十二人の主張

「あたたかい涙」
「ただいま。」と学校から帰ると、いつも家にはおじいちゃんかお母さんがいてくれて「おかえり。」と答えてくれます。家に誰もいないときには、家のそばの工場まで走って行ってお父さんたちに無事帰ったことを知らせます。お父さんやお母さんの顔を見ると、わたしはほっとします。そのとき私は、家族に笑顔で迎えられることを喜びを感じます。

(中略)

私は、家族には「あたたかい心」と「うちとける心」が大切だと思います。あたたかい心とは、家族が一人一人のことを思いやることで、うちとける心とは、みんなが何でも気楽に話ができることではないでしょうか。私はこんな家族に恵まれてとても幸せです。

でも、心配なことがひとつあります。おじいちゃんは、最近リュウマチという病気で、家で寝ていることが多くなりました。元気なころは、工場でみんなと一緒に仕事をしていたのですが、



優勝旗を手にする第6ポンプのみなさん

父の日の声援に 奮闘!

第26回東白川村消防操法大会



郡大会は五位入賞

「さあー気合いを出して行
けよー」
「よおしバッチリだあー」
力のこもった声援に沸いた

第二十六回東白川村消防操法
大会が六月十七日、総合運動
場で開かれ十三日間にわたる訓
練の成果を披露しました。

当日は、父の日とあつて、
ごちそうをいっぱい詰めたバス
ケットを片手に声援を送る家族
連れが多く、いつもよりも増して
ハッスルしていたお父さんの姿
が印象的でした。

大会の成績は次のとおりでし
たが、七月一日、坂祝町で行わ
れた加茂郡消防操法大会に第一
分団第六ポンプと第三分団第十
三ポンプが出場し、第六ポンプ
が五位に入賞しています。
連日連夜にわたる訓練ご苦労
様でした。

◇小型動力ポンプの部

優勝 第一分団第六ポンプ

指揮者 安江友則(上親田)

一番員 大坪久好(下親田)

二番員 安江正明(〃)

三番員 村雲辰善(〃)

準優勝 第一分団第十四ポンプ

三位 第三分団第十三ポンプ

四位 第三分団第十ポンプ

五位 第一分団第五ポンプ



操法が終ればやさしいお父さんしています

◇自動車ポンプの部

優勝 第一分団自動車ポンプ

指揮者 木村恒久(上親田)

一番員 中島泰幸(平)

二番員 青山昭広(〃)

三番員 安江修治(〃)

四番員 安江孝洋(〃)

◇個人表彰

▼小型動力ポンプの部

指揮者 安江友則(上親田)

一番員 大坪久好(下親田)

二番員 田口正幸(大明神)

三番員 安江弘武(柏本)

▼自動車ポンプの部

指揮者 木村恒久(上親田)

一番員 該当なし

二番員 該当なし

三番員 該当なし

四番員 安江孝洋(平)

今は働けなくなってしまいまし
た。

私が学校からかえるといつも
痛そうな顔をして寝ているので
かわいそうになってきます。手
も足もポンポンにはれあがって
しまつて右手の人差し指の関節
がまがつたま元にもどりませ
ん。手も足も全部痛いのので、お
風呂に入るときの着替えや立っ
たり座ったりするときは、自分
ひとりではできません。私はそ
ういうとき、服を脱がしてあげ
たり着せてあげたりして手伝っ
ています。家族のみんなも手を
貸しています。

ある日の夕食のとき、おじい
ちゃん部屋から起きてきまし
た。すると、ちようど歩くとこ
ろに洗濯物がおいてありました。
それがじやまになりそうだった
ので、私は横にどかしてあげま
した。ただそれだけの当たり前
のことをしたただけなのに、おじ
いちゃんは涙をポロポロ流して
「佐和子 ありがとう」といつ
てくれました。

その時のおじいちゃんは、す
ごくかわいそうで私は胸がつま
りそうになってしまいました。
(おじいちゃんの病気がにくい
どうしておじいちゃんをこんな
めにあわせるの)と、いつもお
じいちゃんのつらそうな顔をみ
るたびに思います。私は、おじ

いちゃんの涙になんだか温かい
ものを感じました。これからさ
き、忘れてはならない涙だとお
もっています。

私は、おじいちゃんの病気が
早くよくなって、好きなことが
やれるようになってほしいです。
また、自分のいきたいところへ
いけるようになればいいと思
います。

これからも、おじいちゃんが
困っているときには、できるだ
け手伝ってあげたいと思ってい
ます。おじいちゃんだけでなく
家族みんなが困っているときに
は助け合える家族にしたいです。
体の悪いおじいちゃんでも
「樋の子探そうかい」の会長とし
てがんばっているのだから、健
康な私は(もつとがんばらなく
ては)とおもっています。いつ
も、お父さんやお母さんは「年
寄の人や困っている人にはやさ
しくしてあげないかん」といつ
ています。

私がおじいさんの涙が忘れら
れないのは、お父さんやお母さ
んにいつもいわれていることが
心のなかに残っていたからだど
思っています。

学校でも家でもおじいちゃん
の「温かい涙」を忘れずやさし
い心をもち続けたいと思ってい
ます。「おじいちゃん、いつま
でも長生きしてね。」

ビックリ

常識を破った五本足の殿様ガエル

「カエル」と聞いてキャアー！と顔を背ける人は、五本足と聞いたらどんな声を上げることやら……

どの足が一本多いのか、目



を大きく開いてよく写真をご覧ください。向かって左側の前足に注目！！

ハの字にビヨーンと二本の足が出てくることから、もらった名前が「ビヨン吉」。その名付けの親が写真の安江純君（下親田）です。

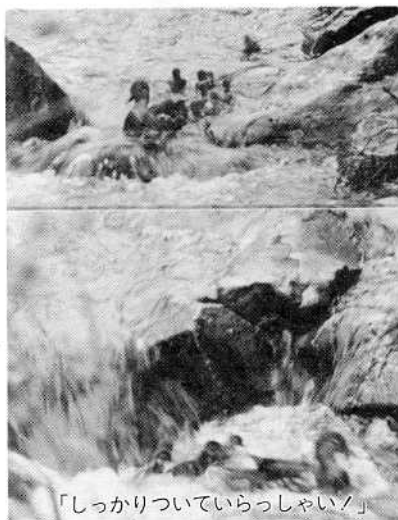
近所の友達とカエルをつかまえて遊んでいたところ、六匹目にこのビヨン吉くんが遭遇。跳ぶにも不便もなく、今は四年生教室で元気に暮らしているとか。

母性愛

カモの親子突然現われ急流下り

「下のたんばに何やらおかしなものがあるぞお」
平の神戸獎さんが奥さんにそ

う言って近くに寄ってみると、なんと母鴨が九羽の子を連れて泳いでいました。



「しっかりついていらっしやい！」

人の気配を感じた母親は、子供を安全な場所へ移そうと注意を払いながらたんばを跳び出した谷へ逃れた。子ガモの勇氣ある急流下りをワシショット！

ハッスル

どお！先生がんばったよ、一人二役で大健闘

一人で四種目に出場し四つの金メダルを獲得した陸上界の巨人カールルイス……とまではい



表彰を受けた青木さん

かないまでも一人二役をこなして戦った第二十一回加茂郡陸上競技大会が六月二十四日、八百津町蘇水運動場で開かれ十三種目に十二人の選手が出場しました。

走る、投げる、跳ぶの運動は、どのスポーツにも共通した基本。陸上クラブがなくても日頃の運動の成果が個々に発揮された今回の大会では、毎日児童たちと広い校庭を駆けまわっている先生の活躍が

う歌

村民センターに本格的なオーディオ機器

村民センター大集會室は、歌って踊れる村民の憩いの場所。



利用の仕方はいデテしたい

そこに写真のオーディオ機器が設置されたことをご存じですか。「ふれあいのある社会福祉活動に役立ててほしい」と平の安江一三さんが寄付されたもので縦五十五センチ、横七十五センチの37型大画面テレビと14型のモニターテレビ。そしてレーザーディスクプレーヤーとVHSビデオなどがセットされています。利用される場合は、社会福祉協議会へ申し込んでください。

ひとときわきわだつていました。

上位入賞者は次のとおり

【優勝】

三千百一 今井保都（大沢）・女子走り幅跳び 青木真弓（小学校教諭）

【二位】

八百一 大塚芳樹（小学校教諭）・男子走り高飛び 青山昭広（平）・女子百一 青木真弓（小学校教諭）・男子四百一 青山昭広、安江修治（平）
今井保都、大塚芳樹

■戸籍の窓 六月 敬称略



誕生おめでとう
ございます

ん

（平）中島 清彦 直紀
佳美（長男）

じ

（黒瀨）高井 三郎 紗代
恵里子（二女）

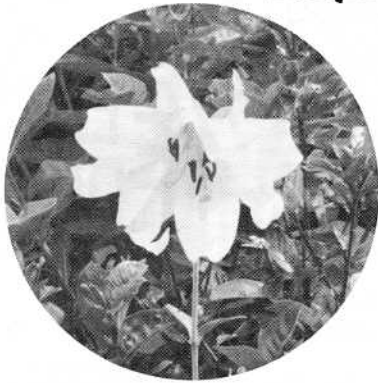
い

いつまでも
おしあわせに



け

屋 達也（白川町）
安江保奈美（下親田）
武田 雅人（海部郡弥富町）
古田 万美（平）



一本の茎から九枚の花びら。そして、二本のめしべ。あの、かわいらしいササユリがあいきょうたつぷりに変化しました。山ユリが花房を七十五個つけ東白川村のギネスに登録されたことはありましたが、ササユリの珍記録ははじめて。下親田の古田忠さん宅で咲いたこのササユリ、来年はどんな花をつけるのか楽しみです。

あいきょう

たまにはこんなユリもあつていいんじゃない



山道をスイスイと駆けるホワイトボデーの四輪駆動車「赤い羽根号」が、きめ細かい福祉活動に大活躍しています。この日も（七月三日）加子母村のデイサービスセンターで七月生まれのお誕生日会があり、参加者の楽しい会話を乗せて送り迎えました。この赤い羽根号は、毎年十月に皆さんにご協力いただいている「赤い羽根」の共同募金会から配分されたものです。

快適

山道スイスイ福祉を運ぶ赤い羽根号

感激

ササユリプランター栽培で開花



喜びでいっぱいのは伊藤さん

またまた、ササユリの話題です。ササユリになぜ、人は心ひかれるのでしょうか……ふつうなら六年でやっと咲く一輪の花が、わずか一週間でしおれてしまふ、はかなさにあるのかも知れませんが、昨年六月、県



熊崎喜久夫さん宅のコイ



安江文吾さん宅のコイ

「テレビで見たのは、たかましい顔をしてたけど、これはやさしい顔をしているね」噂を聞いて見物に来た人たちが口を揃えて言うほど、親しみのある顔をもつ人面魚くんは、ツチノコ神社のふもと安江文吾さん（下親田）宅で育ちました。そして、「頭部にある二つの黒点が人の目に似ている」という下野の熊崎喜久夫さん宅の人面魚くん。どちらも見る人の思いひとつ、一度ご覧ください。

顔

出たアー！ 人面魚 しかも二匹



おくやみ 申しあげます

安江 國市 76歳（上親田）
栗本 香 64歳（柏本）

■善意の寄付 〓敬称略

〔社会福祉協議会へ〕

現金十万元―安江光昭（上親田）

〔東白川中学校へ〕

竹ぼうき三十本―老人クラブ 寿会・額縁一個―松岡美香子

（陰地）・原色日本の美術三十巻―安江武彦（多治見市）

木枠付プランター二個―東白川村森林組合

〔東白川小学校へ〕

本一冊―河田重喜（西洞）・木枠付プランター二個―東白川村森林組合

ササユリ保護育成会長の堀田勝先生（岐阜市）からもらった二年生苗。それを一年育てた今年みごとに二輪の花をつけたのです。

鱗片を1片づつはがして、消毒して植える鱗片挿しの技術を学び、伊藤さんは今年約六十個を挿したところ一斉に芽を出しました。三年目の初夏が今から待ちどおしい気分です。



▲歯のポスター
東白川小学校5年
安江崇真さん(陰地)



迷



▲絵文字
東白川中学校2年
藤井久美子さん(大沢)

▲絵文字
東白川中学校2年
村雲かおりさん(神付)

わたしの作品

おしらせ



青少年を非行から守る
全国強調月間

三日里親に なってください

岐阜県里親連合会では、県内九か所の養護施設に入所している児童を、夏休みに一般家庭で三日間預かってもらい、児童に温かい家庭の味を体験させるため、県の委託を受けて、三日里親を募集します。

ボランティア精神で引受けて下さる人はいませんか。

【児童を預かる期間】
八月十八日(土)～八月二十日(月)まで

【申し込み方法】
三日里親を希望される方は、役場住民係に申し込み用紙がありますので所要事項を記入して提出してください。

【対象児童】
三才から十二才まで

【申し込みの期限】
七月二十日まで

※ 詳しい内容とお問い合わせは、役場住民係(有線二一六二)まで

自衛官を 募集します

防衛庁では、二等陸・海・空士・一般曹候補学生、防衛大学の学生など自衛官を募集しています。

▽わが国の平和と独立を守り、心身を鍛え技術を身に付けた方。

グリーンピア恵那 入園が無料に

7月20日～8月5日
大規模年金保養基地グリーンピア恵那では、開業以来の入園者が四十万人に達するのを記念して、七月二十九日か

たは可茂福祉事務所へ(電話
〇五七四―二五―三二―一)

ふるさとのことば 18



☆こな

朝、寝過ごして朝御飯を存分に食べないで仕事に出たときなど、短時間に空腹を覚えるものです。そんなとき思わず「今朝あわてて朝飯よろくに食べこな来たもんやで腹減った」などといいます。

夏の夕方、天候が急に変わって激しい夕立が降ってきたときなど「雨戸閉めこなやら。障子や濡れるで閉めといてこい」と、干してあった洗濯物を抱え込んできたお母さんが子供に大声を挙げます。

ところで、この「こな」という語にはどんな意味があるのでしょうか。辞書を探しても見当たりにせんから、広

く分布していない言葉のようです。

少し理屈っぽい言い方ですが、この言は、動詞の連用形について「その時しなかった」意、または「まだしていない」意を表わします。だから「食べこな」と言ったら「食べないで」とか「食べないまま」とかいう意味になりますし、「閉めこな」は「閉めないで」とか「閉めないまま」という意味になるわけです。

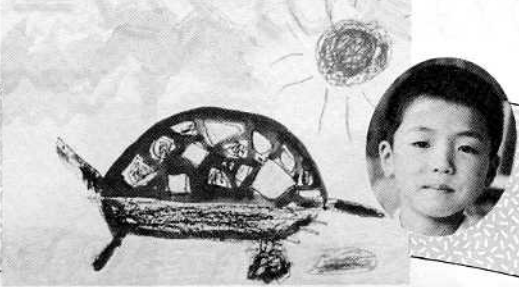
☆つら

「今日神土い行つたら」(今日神土へ行つたでしょう)「今日の新聞に出るけど見つらか」(今日の新聞に出ているが見たろうか)などと日常よく使う言葉です。

この語について辞書を調べますと、(完了の助動詞「つ」に推量の助動詞「らむ」の付いた「つらむ」が「つらう」となり、さらに変化したもの)とあります。「つらう」「つらむ」は、「…ただろう」「…に違いない」という古語ですから、「つら」は古語がだんだん変化したものということが出来ます。



▲わたしのワンピース
越原保育園 やすえりょうたくん4歳(日向)



▲かめのたろう
越原保育園
やすえたいすけくん(黒淵)



いろいろなもの

今月の図書

袖すりあうも嫁姑

小林千登勢著

顔まで似てきて、実の親子とまちがえられる程仲の良いと評判の山本家の嫁姑。が、そうなるまでには十年の歳月が必要だった。夫と娘を含めた四大家族が「家族っていいね!」と幸せをかみしめるまでの葛藤のドラマ。

トットの欠落帖

黒柳 徹子著

「神様は、どんな人間にも必ずとび抜けた才能の一つを与えて下さっている」女学生の頃この話に感銘をうけた彼女だったが、何をやっても世間の常識からはみ出してしまい「欠落人間」の噂はひろがるばかり……思わず噴き出しながらフット胸が熱くなる珍談伝説の数々。



ら八月五日までの八日間、入園が無料になります。ご利用になられる方は、役場窓口で「東白川村民入園引換券」をお受け取りください。入園チケット一枚につき四人まで入園できます。さらに、この

進めています——ふるさとづくり

◆工事入札結果(工事名・工事箇所・事業量・事業費・施工業者・完成日・事業主体の順になっています)

【下親田】新果林道他2路線修繕工事・延長1,117m・1,446千円・新田建設・8/9・村

【曲 坂】中出林道開設工事・延長644m・23,100千円・丸登建設(株)・11/27・村

【日 向】日向本線道路改良工事・安江歳数宅から・延長320m・62,830千円・(株)立保土木・12/10・村 ▶高嶺林道開設工事・延長783m・22,000千円・山田土建(株)・11/27・村

【栃 山】都加太地林道開設工事・延長918m・29,500千円・(株)立保土木・12/17・村

【久須見】久須見、大野林道舗装工事・延長2,438m・36,000千円・日本舗道(株)・11/2・村

グコースター試乗券各四枚と引換えてもらえます。



岩チドリを前に目を細める有田さん

五月末から六月の中旬にかけて約一・五センチほどの薄紫の花をつける岩チドリ。
川岸の日陰でしかも岩盤の割れ目に生えるこの花は、茎の長さが七・八センチと短く、ユリに似た二枚の葉をつけるラン科の植物です。この花を採取し鉢植え栽培に成功して四十年になるという下親田の有田房雄さん(89)は、岩チドリによせて次のような考えを披露されました。
「岩チドリはかつて、中学校

岩チドリ

前の東洲や病院前の川原にいくらでもあり、花好きだったわたしは七・八歳のころから自宅近くに流れる佐広川へ行って採り、盆栽のまねごとをして楽しんでました。終戦になって家へ戻り、鉢植えを試みたころでさえ既に減る傾向にあり、今ではほとんどその姿を見ることができません。白い花を咲かせる岩チドリは一本五万円から十万円、このあたりのものでも一本千五百円から二千元で売られているほど全国的に人気のある草花です。激減した原因の一つには乱採取が挙げられるものの一番の要因は植林です。落葉樹がなくなった山林は保水力がなく、大雨が降ると洪水になりチドリが咲く岩肌を洗うためです。植林が進む前は、佐広川では鉄砲水など出なかったのに、対岸に人がとり残されてクレールン車で引き上げたことや、過去一度も水がつかなくなった橋が流された事実がそれを物語っています。
松の植林は私たちにとても大切なことですが、場所を選ばず何でもかんでも松を植えるのではなく、谷筋や尾根には落葉樹を残したり、松とその他の樹木のまじった林をつくるなど、山づくりを考え直すときではないでしょうか……」

前、このあたりのものでも一本千五百円から二千元で売られているほど全国的に人気のある草花です。激減した原因の一つには乱採取が挙げられるものの一番の要因は植林です。落葉樹がなくなった山林は保水力がなく、大雨が降ると洪水になりチドリが咲く岩肌を洗うためです。植林が進む前は、佐広川では鉄砲水など出なかったのに、対岸に人がとり残されてクレールン車で引き上げたことや、過去一度も水がつかなくなった橋が流された事実がそれを物語っています。
松の植林は私たちにとても大切なことですが、場所を選ばず何でもかんでも松を植えるのではなく、谷筋や尾根には落葉樹を残したり、松とその他の樹木のまじった林をつくるなど、山づくりを考え直すときではないでしょうか……」

満1歳

◀ (喜一さん・聡子さん
二男一陰地)



たけふみ
田口 武史くん



しろうま
安江 翔馬くん



安江 ゆかりちゃん

▲ (一夫さん・真理子
さん長女=柏本)



安江 由衣ちゃん

▶ (弘企さん・由美子さん
長女=柏本)



安江 葵ちゃん

▶ (安さん・真理さん
長女=神付)

▲ (忠広さん・成子さん
長男=下親田)

● 短歌

広報文芸

吾が病案じてくれる嫁の膳真心こもる旬の味なり

段々道息継ぎのぼる夫と吾共に老いたり共に死にたし

川霧の深きに銘茶育くまる故里白川の茶摘み始まる

御在所岳につなぐロープの太太とゴンドラ高く運び上げゆく

紫のてっせん供へ夫の墓所去りがたくみつ立日の今日を

藤の棚作らむと植ゑし池の辺に尺余の藤蔓宙に浮遊す

戦中に楡となしたる竹群の竹未だ枯れず梅雨空を差す

茄子苗を植えて見守り成長の観察孫と日話し合ふ

古稀近き庭に季節の花々を咲かせて楽しわが独り居も

地下高騰かわり無けれ山村はビニールハウスに風景変はる

白山の林道峠ぞ険しくて断崖の滝垂直に墜つ

山中の滝の滴の冷たきに濡れつつ咲けるササユリ白し

逆転に笑って泣いて球児らの日焼せし顔春陽に輝く

時折りを栗の花の香流れ来ぬ一人の旅の列車を待てば

自が意志をもう掌のこぶしに握りもつ初孫男の子大地踏みゆく

振り向けば「おいまめなか」と懐かしき眼差しうれしその名浮かばず

雨の日を染しむ様な蟹の歩み足とめて見つ水無月の道

茶摘姿美しかりしははそはの母と茶を摘みし幼年の日よ

初なりの胡瓜一本もぎ来り緑とその香清しむ今朝は

検匂ふ湯舟にしはし眼をつむるひと日の果ての小さきよろこび

早瀬 勇造

安江 幸

小池 きぬゑ

田口 一枝

古田 よし江

安江 澄

安江 香

安江 すみよ

安江 節子

田口 巽午

安江 龍玉

早瀬 久子

三戸 きり

今井 かな

小池 弘子

安江 嘉久一

村雲 うめ

安江 守平

伊藤 美枝

伊藤 重雄

あなたの作品をお寄せください。初心者、とくに若い人たちの投稿を歓迎します。●偶数月の二十日までに神戸伊藤重雄宛に出して下さい。

立村百年記念植樹

梅のうめ話

▼敷草はできるだけ広い範囲にすることが大切で、根元だけに厚く積み上げるのは害虫の「すみ家」となって逆効果。▼梅の木どころか人間様も梅雨明けの猛暑にはゲンナリとさせられる、そんな時に威力を発揮するのが何といても梅酒。なぜ梅酒が体に良いか?、科学的に追及してみよう。

「梅雨」梅の実を収穫するころに降り続く雨。その雨が上った七月の乾燥は梅の生育に大きな影響を与え、特に成木では来年の花芽を作る大切な時期である。この時期の乾燥を防ぐため株元に敷草をするのが梅栽培のポイント。▼梅は湿気に強いからと湿地帯に植える人があるけれど、そうではなく乾燥に弱いのであって排水の良い土地のほうが適している。

▼食物が体内で消化分解されると焦性ブドウ酸になる、これは体が健康ならば体内で燃えてエネルギーになる。ところが少しでも体に異常があると不完全燃焼で乳酸ができてしまう。この乳酸がやっかいもので、筋肉のタンパク質と結合して固くなり、肩こり、腰痛、動脈硬化、神経痛、疲労の元凶となる。▼梅に含まれるクエン酸を体内にとり入れると焦性ブドウ酸はクエン酸に変化し、さらに別々な有機酸に変化して完全燃焼し、乳酸が発生しにくくなるというわけ。このメカニズムの証明で、イギリスのクレイプスという学者は一九五三年にノーベル賞を受けた。▼梅には下痢と便秘、胃酸過多と無酸症という正反対の症状を治す「梅の可逆性」と呼ばれるユニークな効用もあり、クエン酸どころか「食える酸」の力には計り知れないものがある。